

# 日本の商いと、上方文化の発祥の地 中船場・南船場(備後町から長堀通)を中心に



大正3年の本町通  
中之島図書館 蔵(本町筋)

大阪の商業発展に欠かせない名士の資料が公開されています

昔、市電が走っていました。また、筋の呼び名が、ここ本町通より北と南で変わるといわれています

1970(昭和45)年、「船場中央」の町名ができました

船場センタービルは1から10号館まであります

昭和4年頃の久太郎町  
中之島図書館 蔵(本町筋)

「どぶいけ」と読みます

船場での唯一の公園!

戦時中、この場所にB29の爆弾が落ちました

「江戸の辻」と呼ばれ、新町(当時、花街)との玄関でした

この場所が、心齋橋商店街の発祥の地といわれています

戦後から昭和28年頃まで映画館がありました

末吉孫左右衛門の御子孫の店があります

昔、「中橋」がありました

昔、「長堀橋」がありました

津村別院(北御堂) 難波別院(南御堂)

難波別院(南御堂) 毎年11月に、松尾芭蕉を偲んで盛大な句会が開催されます

難波神社。珍しい四方鳥居で、東西南北に鳥居があります

難波神社の楠。樹齢400年以上

稲荷社文楽座跡。神社東門にあります

芦池地藏と楠。旧芦池小学校跡地敷地内にあります

橋本宗吉絲漢堂跡。名士を輩出した私塾

農林会館。建築家コンドル氏に昭和5年に三菱商事大阪支店として建設されました

市販のガイドブックとはひと味違う、区民がつくった「ガイドナビ」

「区内には地元の人だけが知っている魅力がいっぱい、ぜひ伝えたい！」市販のガイドブックとはひと味違う。区民が調べ、歩き、聞き、まとめたわかまちガイドナビ「中央区わかまちガイドナビ」が、ご近所ではお馴染みさんからも、もちろん学校でも、わかまちの魅力から「口へ」と伝えている「ききかきかき」の看板が、中央区未来わかまちフォーラムは、区民自らわかまちの魅力を伝えるために設立された団体で、平成24年度から、区の魅力向上や課題の克服等にむけて活動しています。平成20～22年度までに「ガイドナビ1-1-6」を作成しました。「このガイドナビを持って、実際にまちを歩き、もっと中央区を知ってもらいたい！」作成メンバーの何よりの願いです。おもしろいので、ぜひ活用ください。

発行・問合せ 発行：中央区未来わかまちフォーラム  
中央区未来わかまちフォーラム推進委員会  
大阪市中央区役所市民協働課 06-6257-9832  
平成24年3月発行 編集：街角企画株式会社  
※平成24年3月1日現在の情報を掲載しています。

区民ガイドまちのすべれもん

ガイドナビを手にまちを案内するガイドです。それが「中央区まちのすべれもん」です。紙面の限られるガイドナビではないふか〜い街の、最新情報まで「区民ガイド」が楽しくご紹介いたします。現在では歴史やまちの魅力紹介を中心のすべれもん事業ですが、今後は趣味や特技を活かした講座など、暮らしと地域を盛り上げる活動も展開予定です。

中央区まちのすべれもんは、区民が気軽に活用できる冊子です。利用していただく方は、中央区役所までお問合わせ下さい。また区内の魅力を深めたい方、地域活性化にご協力いただける方を、新たなすべれもんとして募集します。自費、他機関問わずお待ちしています。

